

南相馬

ミュージアム通信

Minamisoma City Museum News

Vol. 46

令和4年1月15日発行
編集・発行 南相馬市博物館
原町区牛来字出口194
TEL 0244-23-6421
URL <https://www.city.minamisoma.lg.jp>

やってきました!

猫展

浮世絵で見る人と猫の文化史

2022年2月11日[金・祝] - 3月31日[木]

🐾 講座

3月21日(月・祝)
「猫の浮世絵を愉しむ」
講師：則武広和氏
※詳細は裏面をご覧ください。



🐾 猫の絵馬を作って飾ろう!

猫の写真を館内に飾ります。
・好きな猫の写真をお持ちください。
・写真は紙焼きで縦9cm 横13cm 以内。
・絵馬形の台紙に貼って飾ります。
・写真はお返しできません。

観覧料 (企画展は常設展のチケットで
ご観覧いただけます)

一般 400円
市内の高校生以下 無料

※詳細は裏面のご利用案内をご覧ください。南相馬市と飯館村の小中高生、障がい者の方と付添いの方1名、生活保護世帯の方は無料です(手帳等をご提示ください)。

※3月21日(月・祝)は開館。3月22日(火)は休館。

猫展 浮世絵で見る人と猫の文化史

いまや、猫は人びとにとって家族同然の存在になりました。猫の写真集や動画が巷に溢れ、「猫ブーム」といってもよい様相です。猫の愛らしい姿や笑える姿が写真や動画としてSNSで発信され、多くの方が手軽に楽しめる時代になりました。猫をそれほど好きではない人でも、投稿写真や投稿動画を観て、癒されたり笑ったりした経験も少なくないことでしょう。

しかしこれは、人と猫との長い関わりのなかでは、つい最近のことといえます。今から300年以上前の江戸時代後期以前には、猫は、富裕層の愛玩動物であったり、庶民にとっては鼠対策としての実用的な家畜でした。その後、だんだんと町の女性や子どもにとって愛らしい存在としてかわいがられるようになりました。そのことは、女性や子どもが猫をいつくしむ姿を描いた浮世絵がたくさん残されていることでも知ることができます。

近年、こうした人と猫の関係を浮世絵から深究した展覧会が全国的に数多く開催されています。今回、当館でも個人のご厚意により、猫を描いた代表的な浮世絵や見て楽しい浮世絵を紹介します。人びとの暮らしのなかで変化してきた猫の存在、そして、どのように家族の一員として受け入れられてきたかを浮世絵を通して読み解きます。



歌川国芳
「山海愛度図絵 七 ヲゝいたい」 個人蔵

2月～3月

南相馬市博物館の催し物



このマークのある催し物は子ども大人も楽しめます。

※参加申込は受付日の午前9時から先着順です。
お問い合わせは 南相馬市博物館 0244-23-6421
詳細は博物館ウェブサイトにも掲載しています。

開催日時	タイトル	内 容	受付開始日
3/5(土) 13:30-15:30	講座 古文書をよむ 「鎌倉時代の相馬氏⑥～幕府滅亡前後の相馬氏～」	定員 36 人 講師：岡田清一氏（東北福祉大学大学院嘱託教授） 鎌倉時代の相馬氏について、新発見の資料とともに、幕府の政治史をからめて考えていきます。【持ち物】筆記用具	2/5～ 9:00～
3/13(日) 10:00-12:00	体験学習 勾玉を作ろう！ 小学2年生以下は保護者同伴	定員 15 人 講師：荒瀬人学芸員 縄文時代から使用されていた勾玉の歴史や技術を学びながら、滑石で作ります。【持ち物】汚れてもいいタオル1枚	2/13～ 9:00～
3/20(日) 13:30-15:00	体験学習 プラスチック標本でペンダントを作ろう！ 小学2年生以下は保護者同伴	定員 15 人 講師：樋口晴菜学芸員 身近な野の花や貝などを樹脂にとじこめてペンダント（約1×1×4cm）を作ります。封入したい花などがある方は十分に乾燥させた状態でご持参ください。【持ち物】汚れてもいい服装で	2/20～ 9:00～
3/21(月・祝) 11:00-12:00	講座 猫の浮世絵を愉しむ	定員 36 人 講師：則武広和氏（猫浮世絵愛好家） 猫好きな方はもちろん、そうでない方も、猫の「かわいい！」「おもしろい！」「笑える！」など「あるある」を浮世絵で楽しめます。	2/20～ 9:00～
3/27(日) 13:30-15:30	体験学習 化石をさがそう 小学3年生以下は保護者同伴	定員 20 人 講師：平宗雄氏（博物館収集展示委員） 八巻安夫氏（相馬中村層群研究会） 野外で化石を採る体験をします。【持ち物】汚れてもいい服装で（長靴、手袋）、新聞紙、手さげ袋（エコバッグやレジ袋など）	2/27～ 9:00～

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によって中止・変更となる場合がございます。

ご利用案内

南相馬市博物館

問い合わせ 〒975-0051 福島県南相馬市原町区牛来字出口 194
電話：0244-23-6421 FAX：0244-24-6933 E-Mail：hakubutsukan@city.minamisoma.lg.jp

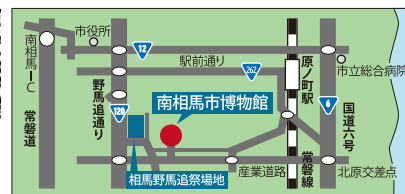
開館時間 9:00～16:45（最終入館は16:00まで）

休館日 毎週月曜日および年末年始（12月29日～1月3日）

※月曜日が祝・休日の場合は開館、その翌平日が休館日となります。

観覧料 一般 300円（250円）高校生 200円（150円）小中学生 100円（80円）
（ ）内は20名以上の団体料金です。※企画展開催中は観覧料が異なる場合があります。
市内および飯館村に居住・通学する小中高生は無料。障がい者の方と付き添いの方1名、生活保護世帯の方は無料（入館の際に手帳等をご提示ください）。

博物館の催し物の
ページはこちら→



※常磐道南相馬ICから約15分



新型コロナウイルス感染症にかかるお願い

当日体調に不安がある場合はご来館をご遠慮ください。ご来館の際はマスク着用と他のお客様との距離の確保にご協力をお願いします。混雑時には入場を待機いただく場合がございます。